



長崎県庁 薬剤師募集 パンフレット

あなたがつくる
これからのながさき

長崎県勤務薬剤師会





CONTENTS

○薬務行政室長からのメッセージ	1
○長崎県職員（薬剤師）が活躍する部署	2
○主な業務紹介	3
○長崎県職員の日	12
○ワークライフバランス	14
○研修への参加	16
○先輩職員からのメッセージ	17



薬務行政室長からのメッセージ



福祉保健部
薬務行政室長

齊宮 広知 (いつき ひろかず)

平成 5年 入庁 有川保健所
平成 8年 島原温泉病院
平成 12年 薬務行政室
平成 15年 島原病院
平成 19年 県央保健所
平成 21年 五島保健所
平成 24年 環境政策課
平成 27年 県央保健所
平成 29年 薬務行政室
令和 元年 廃棄物対策課
令和 3年 薬務行政室

趣味 ゴルフ
ジム通い (筋トレ)

長崎県職員（薬剤師）として活躍してみませんか！！

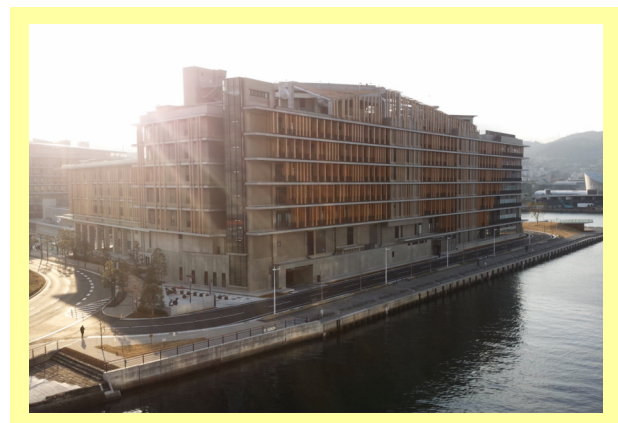
このメッセージをご覧頂いている皆様は、「え？公務員で薬剤師？」、「どんな仕事するんだろ？」と少なからず興味や疑問を持った方々だと思います。

平成30年度の厚生労働省の調査によると、現在、全国の薬剤師は約31万人、そのうち医療機関や調剤薬局に勤務している方々が約77%、国や地方公共団体には約2%の薬剤師が勤務しています。行政薬剤師の仕事内容はあまり知られておらず、特に県(地方)公務員については、「薬剤師免許申請の窓口だっけ？」、「薬機法の学外講師？」、「背広着で突然やって来て、うるさいこと言って帰っていく人達か！」みたいな印象でしょうか。

長崎県の行政薬剤師は、主に薬機法に関する仕事をメインとしています。薬局やドラッグストアでの医薬品販売や医薬品製造業にかかる許認可、麻薬・向精神薬等の免許申請、取扱施設への監視指導など多岐に渡ります。その他にも、食品衛生や環境対策(地球温暖化対策、廃棄物処理)など、皆さんが大学で学んだ薬学・医療・環境化学等の知識を生かし、県民の健康を支えるために多くの仕事を担い、日々働いています。

このパフレットは、皆さんに少しでも行政薬剤師の仕事に興味を持っていただきたいという思いを込め、長崎県に勤務する薬剤師みんなで作成しました。長崎県には、現在、50人の薬剤師が勤務しています。全員のメッセージを紹介することはできませんが、いろいろな職場から、仕事のこと、プライベートの過ごし方など、若い職員からのメッセージも多数紹介しています。ご一読いただき、今後の進路決定の一助として活用いただければ幸いです。

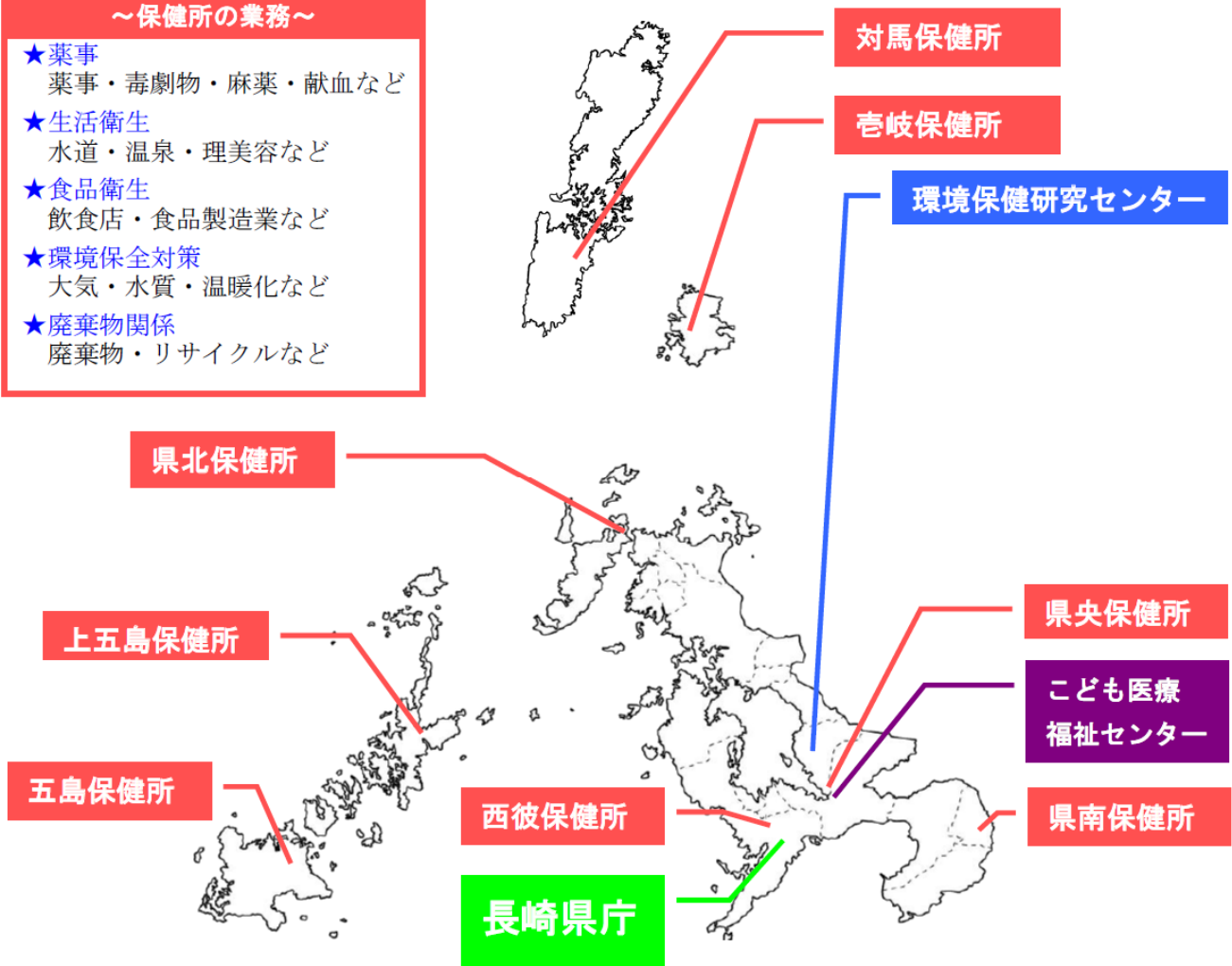
薬剤師法第1条には「薬剤師の任務」が「調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保する。」と規定されています。薬剤師を取り巻く環境は大きく変わり、人生100年時代を迎えようするいま、薬剤師として、いかに健康で長生きすることに貢献できるかを求められるようになっていきます。これから健康長寿日本一の長崎県づくりを目指して、県職員として一緒に取り組んでみませんか。



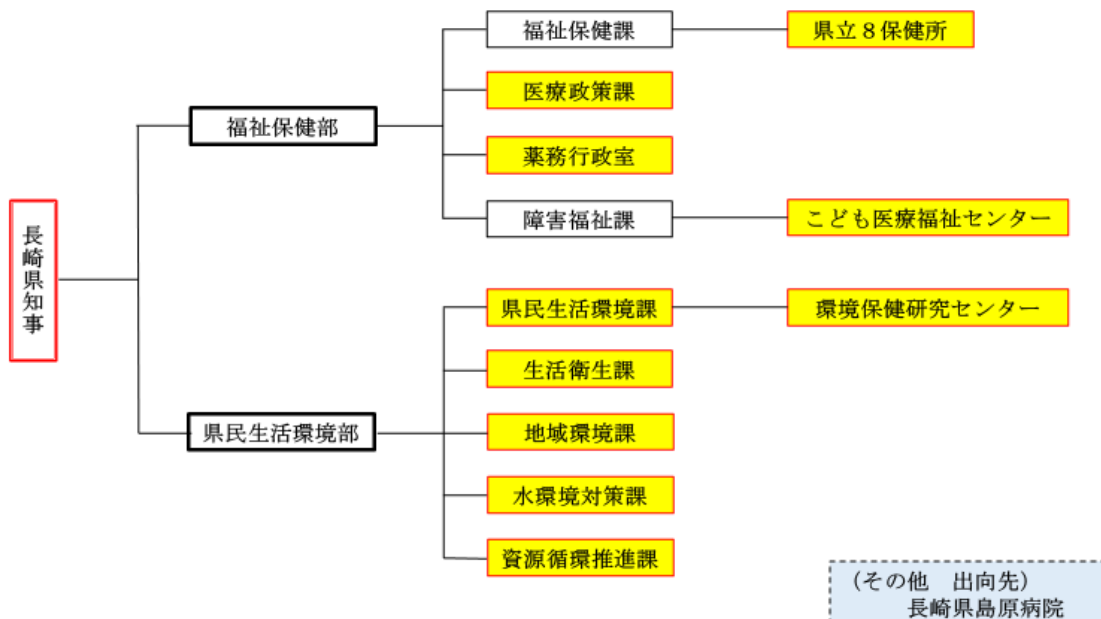
長崎県職員（薬剤師）が活躍する部署

～保健所の業務～

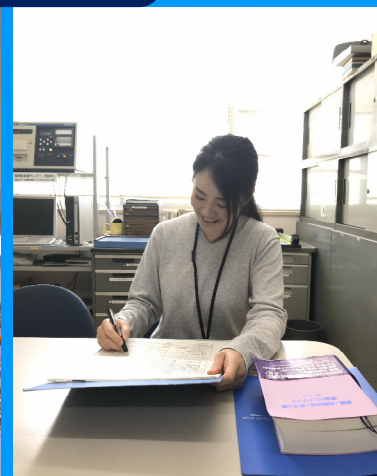
- ★薬事
薬事・毒劇物・麻薬・献血など
- ★生活衛生
水道・温泉・理美容など
- ★食品衛生
飲食店・食品製造業など
- ★環境保全対策
大気・水質・温暖化など
- ★廃棄物関係
廃棄物・リサイクルなど



【薬剤師が配置される主な部署】



保健所における 薬事衛生業務



地域の力を大切に、安心できる長崎県を

～みんな一緒にがんばるけん！～

龍田 恵里

平成28年 入庁

趣味 - クラリネット、自然探し
信条 - 何事もやってみる！

薬事関連業務

長崎県庁に入庁後、2年間の食品衛生業務の経験を経て、初めて薬事衛生業務を担当することになりました。保健所に勤務している行政薬剤師がどのような薬事衛生業務に従事しているか紹介します。

皆さんも大学の講義などで「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律」(略して、「薬機法」!)というなが～い名前の法律について勉強されたかと思います(学生時代、私が得意とする分野でした(笑))。薬局やドラッグストアなどは医薬品や医療機器を販売するため、この薬機法に基づき様々な許可を取得されています。そのため、薬局等が医薬品の取扱いを法に基づき適正に行っているかの確認を行うため、薬事監視員として定期的に立入を実施します。また薬事関係業務は「薬機法」だけでなく、「麻薬及び向精神薬取締法」や「毒物及び劇物取締法」など多く法律があり、これらに関する立入監視業務も行っています。

この他、立入監視業務だけでなく、多くの啓発活動を行っています。近年、違法薬物や大麻の違法所持・使用についての報道をよく耳にされていると思います…その使用者の低年齢化が進んでいると同時に、身近な問題へと変わってきています。このような事犯が起らないように、子どもの頃から正しい知識を身につけてもらうため、小学校や中学校へ「薬物乱用防止教室」の講師として出向き、一生懸命子どもたちと向き合っています。また不正なけしが自生していないか、不正栽培されていないかを確認するため、車で島内を一日中パトロールすることもあります。自生していた場合、土地の所有者や管理者へ連絡するとともに、適正に処理します。

また災害時に保健所職員として被災地の保健医療対策に寄与で

きるよう、災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)にも登録しています。

希望者へのメッセージ

長崎県庁に勤務する行政薬剤師がどんな業務に従事しているかピンとこないかもしれません。私もそうでした…入庁してから行政薬剤師の担当業務が多岐にわたっていることに驚きましたが、相応に広い視野が身につくと思います。新人を教育してくださる上司の方や職場環境は素晴らしいですよ 仕事に慣れてくると地域のため何ができるか考え、自分の力を発揮する機会がたくさんあることに気づきます。組織が大きいので同期の職員がたくさんいて心強いですし、色んな職種の方と仕事ができます。好奇心旺盛な私にとっては刺激的な職場で、とても居心地が良いです。

私たちと一緒に長崎県を旅しながら色んな仕事を体験してみませんか？皆さんが入庁されることを楽しみにお待ちしております



壱岐の海は最高

保健所における 生活衛生業務



佐々野 恵美

平成13年 入庁

趣味 — 旅行、食べ歩き、茶道

信条 — 困ったときはお互い様／酒の一滴は血の一滴

県民や観光客の健康を守る！

生活衛生業務って？

生活衛生業務とは簡単にいうとその名のとおりに「私たち県民の日常生活に密着したお店(施設)を衛生的に保つこと」を目的としています。

該当する施設には、旅館、温泉やスーパー銭湯などの入浴施設、映画館などの興行場、床屋さん、美容室、クリーニング店などがあります。どれもみなさん利用したことがありますよね？これらの施設は不特定多数の方が利用することから旅館業法、公衆浴場法、興行場法、理容師法、美容師法、クリーニング業法といった各種法律で営業施設を衛生的に保つための基準が定められています。これらの法律をまとめて営業六法と呼びます。

衛生管理とは？

旅館や公衆浴場などにある大浴場で最も注意しなければならない感染症としてレジオネラ感染症があります。感染した場合死亡するケースもあり、浴槽水の水質検査の実施や設備の管理清掃などを徹底し、菌の繁殖を防ぐことが重要です。

また、理容所や美容所ではB型肝炎やC型肝炎などの血液感染に注意が必要です。ウイルスに感染した方の血液がカミソリなど皮膚に接する器具に付着すると水洗いするだけではウイルスは死滅しません。その器具を他のお客さんに使用すると、感染させてしまう可能性があります。感染を防ぐには、適切に器具を消毒する必要があります。

ごみが浮いていない浴槽水やピカピカな器具、一見すると問題なさそうに見えますが、細菌やウイルスは目に見えません。施設の衛生管理は人の目につかない部分こそが重要であり、各種法令に基づき指導することが私たち監視員の役割です。

観光県を陰で支える

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産へ登録されることとなり、長崎県は日本で唯一2つの世界遺産を有する県となります。生活衛生業務は、何も事故がなくて当たり前、成果として見えづらく地味な仕事ですが、事業者の衛生管理意識を高め、県民の日々の生活や長崎県を訪れる観光客の健康を守り、陰ながら観光県を支えていきたいと思っています。

希望者へのメッセージ

生活衛生を担当する課には、薬剤師の他、獣医師、検査技師、環境科学職などいろんな分野のスペシャリストが集まっています。他職種の方と話をすることで、視野が広がり、知識も増えていきます。薬に関する知識にとどまらず、幅広い知識をもって薬剤師の任務の1つである「公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保すること」を果たすことができるのが県職員の特徴です。公務員は公僕であることを忘れてはならないですが、臨床の薬剤師では得ることができない知識がたくさん身につく、きっと自分自身の人生の幅が広がるはずです。



保健所における 食品衛生業務



食の安全を守るために

田川 康平

平成25年 入庁

趣味 — 食べること、フットサル
バスケットボール

食品衛生監視員としての仕事

長崎県職員(薬剤師)が行う仕事のひとつに食品衛生があります。薬剤師であれば取得できる資格の「食品衛生監視員」としての仕事になります。実際には、飲食店、食品工場、給食施設などの食中毒防止のための監視指導や県民のみなさんへの食品衛生の正しい知識の普及啓発などを行っています。

食品工場や給食施設での自主衛生管理の推進

私が所属する県央保健所衛生課監視指導班は、県立保健所で唯一、食品工場や給食施設を広域的かつ専門的に監視指導している部署です。特に県外流通品を製造する食品工場や大量調理を実施する施設を中心に年間約200施設を回り、各施設の衛生管理レベルの向上と自主衛生管理の推進を目指し、日々衛生指導に取り組んでいます。近年、食の安全に対する関心が高まるなか、県民のみなさまが安心して食事ができる環境を整え、食中毒等の健康被害を未然に防ぐことは、私たち食品衛生監視員の責務と考えています。

HACCPの普及を目指して

これまでの製品の安全確認は、最終製品からサンプルを抜き取って、検査するのが一般的でしたが、それでは全ての製品の安全確認を行ったとは言えません。HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point)は、原材料の入荷から製造、出荷までのいくつもの工程で作業手順を定め、手順どおりに行われたかを確認することにより、衛生管理をチェックする手法です。より効果的に問題のある製品の出荷を未然に防止することが可能になるとともに、

HACCPでは製造工程を継続的に監視し、記録を残すため、もし事故が起きて原因の追及を容易にすることが可能になります。このHACCPは現在、食品衛生管理の国際基準となっており、長崎県においてもより安全で安心な食品を提供するため、HACCPの講習会や監視指導時におけるHACCPによる衛生管理の普及啓発活動を行っています。

希望者へのメッセージ

県で働く薬剤師は薬事関係、食品衛生、環境衛生、環境保全など幅広い分野で長崎県に貢献できます。実際に、私もこれまで様々な業務を担当してきましたが、どれも県民生活に直結する重要な仕事であり、やりがいを感じます。幅広い分野で活躍したい、長崎県に貢献したいという方は是非入庁して一緒に働きましょう。



保健所における 環境保全業務

土肥 正敬

平成24年 入庁

趣味 — カラオケ、イカ釣り（1年目）

信条 — やってみよう



環境保全業務

長崎県が取り組む環境保全施策は長崎県環境基本計画などにまとめられており、その内容は多岐に渡ります。この中で、保健所に勤務する薬剤師の環境保全業務について私が担当する業務を中心に紹介します。みなさんが薬学部在籍していたときに「衛生薬学」に関する履修科目があったと思いますが、この講義で学んだ公衆衛生学の内容が各保健所の環境保全業務に登場します。

水環境保全

工場等へ立入検査をおこない、排水処理が適正に行われているかを確認し、特に排水量が多い事業場については保健所内で排水の水質分析を行います。例えば、学生実習でやるような化学的酸素要求量(COD)も測定項目に入っています。

また、汚水処理施設のひとつである浄化槽の適切な整備や維持管理を推進し、不適正事案について個別に改善指導をします。長崎県内には下水道未整備地域が今なお存在しており、これらの地域では生活排水(トイレ、台所等)などが公共水域に直接放流されることがないように浄化槽を設置することが義務付けられています。保健所では、これらの浄化槽がその機能を十分に発揮できるよう管理者にアドバイスをすることも業務のひとつです。

産業廃棄物適正処理推進

産業廃棄物処理業者等に対して立入検査をおこない、廃棄物が適正に処理されているか確認します。過去の違反には、廃棄物を勝手に穴を掘って埋めていた事例や、山積みにして放置した事例などがありました。これらの不適正処理は、土壌汚染等の環境汚染につながる恐れがあるため、本庁と連携して速やかに改善指導を

おこないます。併せて、管轄エリアの巡回パトロールを定期的におこない、廃棄物の不適正処理や不法投棄の未然防止と早期発見に努めます。

希望者へのメッセージ

今回紹介した業務はごく一部ですが、実際には前例のない事案に思い悩むこともあります。しかし、先輩方のサポートのもと、法律を片手に、本庁や市町と協働して問題を解決していくので心配はいりません。

環境保全業務では、廃棄物、排出ガスや排出水などいずれも人の経済活動に伴って生ずるものを対象としていますが、普段の暮らしの中でその行く末を意識することは少ないかもしれません。しかし、衛生的な現在の生活環境には本業務が少なからず貢献しており、誰かがやらなければならない仕事です。そして、今後も安心安全に暮らせる環境の維持改善に取り組む必要があり、現場に立ってこれを推進するのが保健所の環境保全業務です。また、衛生的な生活環境を守ることは、健康的な生活をもたらす、ひいては疾患予防の一環という見方もできます。医療現場で職能を発揮し疾患治療に取り組む薬剤師がいる一方で、衛生的な生活環境を守ることで人の健康的な生活に寄与することも行政の薬剤師の仕事とも言えます。このような働き方に関心がある薬学生・薬剤師のみなさん、就職先として長崎県職員をご検討下さい。

離島保健所（島の魅力）

今日の仕事は海水浴場の水質検査です

船旅は意外と快適



夕陽に照らされ1日が終わります



藤井 修平

平成18年 入庁

趣味 — ランニング、トレイルランニング、登山、ダイビング、バレーボール、スノーボード、釣り

あたりまえの暮らしを支える仕事

薬剤師の職員が配属される職場の一つに「保健所」があります。保健所は県民の皆様の「あたりまえの暮らし」を支えています。ここでは「保健所」の仕事のなかでも「環境保全」をご紹介します。爽やかな空気を深呼吸できる環境。おいしい食べ物を食べられる環境。そして、心安らぐ居心地の良い環境。そのどれもが欠けても人は暮らしにくくなります。「環境保全」とは皆さんが暮らすうえで、暮らしにくくなるような要因を予防し、発生した場合は除去していくことです。最近の環境に関する問題ですが、CO₂増加による地球温暖化、食品ロス削減、漂流漂着ゴミなどがあります。昔は一部の企業が環境を汚染していた公害と違い、普通の生活をする私たち自身が原因になっているのが特徴です。ですから、行政だけでなく県民と一緒に問題解決を図っています。保健所では今住んでいる人たち、そして未来を生きていく人たちが心地よく暮らせるよう誰もが安心して暮らせる環境づくりを担っています。

離島での暮らし

長崎県は大小594の島を抱えている離島県ですが、もちろん県の仕事では離島で勤務をすることもあります。離島と聞くと「田舎で不便」、「船の時間がかかる」、「明かりが少なくて暗い」などの声が聞こえてきそうですが、普通にコンビニもありますし、船・航空機の便も充実しています。Amazon・楽天もちゃんと届きます。そして何より、島の青い海、緑深い山々、おいしい食べ物、そして元気な島の人

たちから毎日パワーをもらえます。都会から見ると「離島」というハンディキャップも、住んでみれば、ゆったりとした時間の中で、仕事やプライベートを過ごすことができます。長崎県に勤めたら、まずは「離島」へ。おすすめの勤務地の一つだと思っています。

思い出深いこと

全国の都道府県で勤務する行政薬剤師の方と1か月間勉強をする、薬事衛生管理研修というものがあります。そこでできた交流の輪は今現在でも続いています。「同じ仕事に携わる仲間が全国にいる！」と考えると、毎日の業務においてとても心強いです。また、県内各地に赴任しますので、その地域の薬剤師会や市役所、役場の方々等と知り合うことができます。県内外に多くの知り合いができたことは、仕事の幅が広がると同時に、人生においても大きな財産を得ることができました。

希望者へのメッセージ

行政薬剤師の仕事は、日頃生活していると見えてこないことが多いと思います。しかし、当たり前暮らしを送るための縁の下の力持ちとして活躍しています。これから生きていく県民の皆様が今後もずっと「あたりまえの暮らし」ができるよう、安心して暮らせる環境づくりという観点から支えていきたいと思います。

医療現場（島原病院）



チーム医療の一員として

嵩下 賢

平成21年 入庁

趣味 — ランニング

病院薬剤師の仕事

私が勤務する長崎県島原病院は、地域がん診療連携拠点病院、救急告知病院、災害拠点病院、地域医療支援病院、高次脳卒中センターなどの様々な病院機能を持ち、島原半島における中核病院としての機能を担っています。

薬局では内服薬・注射薬の調剤、抗がん剤の無菌調製、服薬指導などの病棟活動を中心に業務を行っています。また、緩和ケア、NST（栄養サポートチーム）、ICT（感染制御チーム）に参加し、医師や看護師など他職種と連携した活動を行っています。

現在、各病棟に専任の薬剤師を配置し、薬物療法の有効性の確認や副作用の早期発見などを行う病棟薬剤業務を開始するための準備を進めています。

薬剤師の地域連携

島原病院薬局では、長崎県病院薬剤師会、島原薬剤師会との共催で「島原薬剤師地域連携研究会」を立ち上げ、島原半島の各医療施設における薬剤師の連携（薬薬連携）、お互いに顔の見える関係づくり、「緩和ケア」、「がん化学療法」、「脳卒中」領域での薬剤師の知識向上を目的に活動を行っています。主な活動として、島原半島内の医療施設（病院、診療所、保険薬局等）に勤務する薬剤師を対象に年数回の研修会を開催しています。研修会のテーマは「緩和ケア」「がん化学療法」「脳卒中」だけでなく、「注射薬の調剤」「簡易懸濁法」等の新しい話題にも取り組んでいます。立ち上げから約6年経ち、この研究会が島原半島の医療施設に勤務する薬剤師の情報交換の場となっています。

希望者へのメッセージ

私は臨床の現場で、様々な患者さんの治療に関わることができ、症状が改善していく機会に触れるたびに、薬剤師としての仕事にやりがいを感じています。

長崎県には、病院以外にも保健所、県庁、衛生研究所などの多くの職場があります。医療職種だけでなく、多種多様な知識や技能を持った人達と共に仕事ができます。県職員の仕事は、薬剤師の視点から地域医療を支えるやりがいのある仕事です。

皆さんが持っている薬剤師としての知識・技能を県民のために活かしてみませんか？



本庁での業務（薬務行政室）



地域の医療を支える存在

廣石 朝美

平成28年 入庁

趣味 - ハンドクラフト、旅行
信条 - よく笑う！

薬務行政室の仕事内容

薬務行政室では、県立保健所の職員とともに、県民の生命や健康に関わる業務を行っています。その業務は薬局・ドラッグストアや医薬品・医療機器・化粧品工場などの監視・指導から、薬物乱用防止対策や献血推進の普及啓発など種々様々です。また、政策的な業務として将来を見据えた各種計画の策定、様々な行政課題に対応するための施策・事業等の企画・立案も行っています。保健所では一人の職員が幅広い業務を担当することが多いですが、薬務行政室では各室員が専門業務を持ち、その業務に深く携わることができます。また、保健所からの事案の相談対応などの業務が行えることも、本庁ならではの業務内容です。職員それぞれで業務内容異なりますが、「県民の生命と健康を守る」という共通の目的のために、日々業務に励んでいます。

地域の医療を支える存在

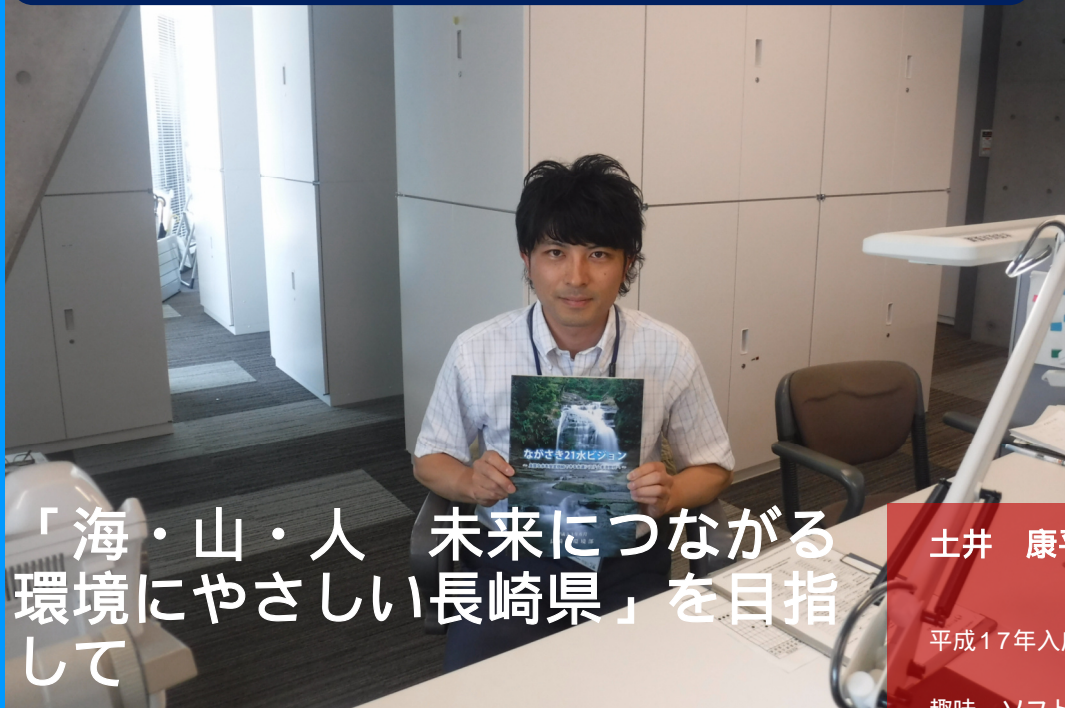
普段の生活の中で、必要なときに安心して医療機関を利用すること、そして医薬品の提供を受けることは、あたりまえだと感じる方がほとんどだと思います。この「あたりまえ」を裏方で支える存在のひとつに、薬務行政室があります。近年では、かかりつけ薬剤師や健康サポート薬局の推進など、私たち薬剤師に求められる役割も幅広いものになっています。薬務行政室では、法的な面からのアプローチや、日々激動する社会情勢の変化に対応するための行政措置を行う業務などに取り組むことで、長崎県の医療の発展に大きく貢献することができます。病院・薬局の薬剤師のように処方箋に基づく調剤や、直接患者さんに服薬指導を行うことはありませんが、私たちが問題の解決に向けて考え、行動することが長崎県民の生命と健康を守ることにつながっていると感じています。

希望者へのメッセージ

薬学生のみなさんは、学生時代に何を学んだかと聞かれると、何と答えますか？薬剤師になるための知識や病院・薬局実習にて実務の基礎を身につけたことはもちろんだと思いますが、それだけではなく、論理的・科学的な考え方や、コミュニケーション力を磨いた、という方も多いのではないのでしょうか。そして、その能力を生かすことができるのが、長崎県庁の薬剤師という仕事だと私は思います。なぜなら、ここでは行政薬剤師として幅広い分野の仕事に携わることができ、他分野を専門とする職種の人たちとも協力して働くことができます。自分の頑張りが県民のより良い生活につながることは、他では得られない喜びで、行政薬剤師の魅力のひとつだと思います。皆さんと一緒に仕事できるのを楽しみにしております



本庁での業務（県民生活環境部）



「海・山・人 未来につながる
環境にやさしい長崎県」を目指
して

土井 康平

平成17年入庁

趣味 - ソフトボール・ショッピング
信条 - 精神一到何事か成らざらん

本県の環境行政について

県庁県民生活環境部では、地球温暖化防止対策の推進や水環境・大気環境の保全、廃棄物の適正処理と利活用の促進、生物多様性の保全、環境保健の推進などの事業を行っています。簡単にいうと、「長崎県の環境を守り、未来につなげるための仕事」をしています。

具体的には、CO₂などの温室効果ガスの排出抑制や市町の上下水道事業者に対して事業の基盤強化や水質基準に係る指導、海域・河川・湖沼・地下水の水質保全、健全な水循環の確保、大気中のPM2.5などによる広域的な大気汚染対策の推進、廃棄物処理業者の監視指導、野生鳥獣等の管理対策、環境放射線の監視など多様な業務があります。

この他にも様々な業務がありますが、長崎県に特徴的なものとしては、大村湾や諫早湾干拓調整池の水質保全対策に係る業務などがあります。

このように環境行政は、公害による被害を繰り返すことがないよう、県民の健康で衛生的な生活を守るために、地球温暖化などの地球規模の問題への対応も行うことで、県民の生活に直結する環境を守る役割を担っています。

水環境対策課での業務について

一口に「水」といっても切り口によって様々で、私が所属する水環境対策課では、水道水から雨水・再生水、生活排水に至るまで業務対象が色々あります。

私の仕事をひとつご紹介すると、「水道水質の衛生確保」に係る業務があります。水道水は蛇口をひねれば出てくるのが当たり前の状況ですが、それを維持するために、水道水の元になる水源から実

す。県では、市町の水道事業者と一体となって、水道水質の衛生確保のために、各種計画に基づいた監視・指導などを行っています。

今後も、「安全・安心な水道水」を、さらに安定して供給するために、水源の維持や濁水などへの対策を推進する必要があると考えています。

希望者へのメッセージ

私にとって「県庁で働く魅力」のひとつに、様々な職種の方と仕事をする機会に恵まれることがあります。議論を重ねることで、多角的な視点で物事を考える良い経験になっています。

このパンフレットがみなさんの就職先選択の一助となり、また、長崎県庁に就職してみたいと思う薬学生・薬剤師の方々が多くいらっしゃれば、この上ない喜びです。

長崎県庁で私たちと一緒に働きませんか！



環境保健研究センターでの業務



科学の知識・技術を活かし
安全な暮らしを守る

吉村 裕紀

平成23年 入庁

趣味 — 卓球、カメラ

信条 — 石の上にも三年

企画環境研究部の業務

企画環境研究部は、地方環境研究所として、水・大気環境、循環型社会、自然共生等、環境に係る調査研究及び試験検査を行っています。

温室効果ガス排出量の増大、微小粒子状物質(PM2.5)による健康影響、資源循環型社会の構築、生物多様性の保全、閉鎖性水域の水質保全等、解決すべき課題が依然として健在しており、その対策が求められています。

これらの課題に対して、環境変化の把握・解析、環境負荷低減に向けた調査研究を進めることで、環境の保全に取り組んでいます。また、企画調整の仕事として、研究等の総合調整、教育研修及び情報発信を行っています。加えて、保健所等における環境関係の試験検査の指導を行っています。

保健衛生研究部の業務

保健衛生研究部は、地方衛生研究所として、感染症、食品、医薬品等、保健衛生に関連する調査研究及び試験検査を行っています。

エボラ出血熱、デング熱や結核といった新興・再興感染症をはじめ、食品中の農薬混入や危険ドラッグによる事件等、健康危機事例については今後ますます多様化、複雑化することが想定されます。

そのような中で、県民の健康保護の観点から、病原微生物や健康被害原因物質等に関する迅速かつ高感度な分析法の技術開発を進めることで、健康被害の未然防止や発生時の被害拡大防止に取り組んでいます。また、保健所等における保健衛生関係の試験検査の指導を行っています。

薬剤師が多く配属される生活化学科も保健衛生研究部の一部門であり、化学物質を対象とした試験検査や調査研究を担当しています。GC-MS/MSやLC-MS/MSなどの精密機器を駆使し、食品添加物や医薬品成分のほか、残留農薬、指定薬物(いわゆる危険ドラッグ)の検査等を行っています。カネミ油症患者の血中PCB検査も重要な業務です。

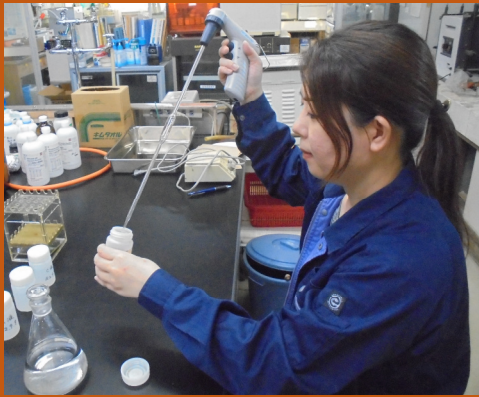
希望者へのメッセージ

私達の業務は、本庁や県立保健所とは違って直接県民の皆様と接する機会は限られています。しかしながら、私達の業務により得られる研究結果や検査結果は、行政施策に繋がることもあり、それを通して県民の安全な暮らしの確保に貢献できます。いわば縁の下の力持ちのような存在です。調査研究や試験検査に興味がある方、安全な暮らしを守る科学者として、当センターにて働いてみませんか？お待ちしております。



県職員の日

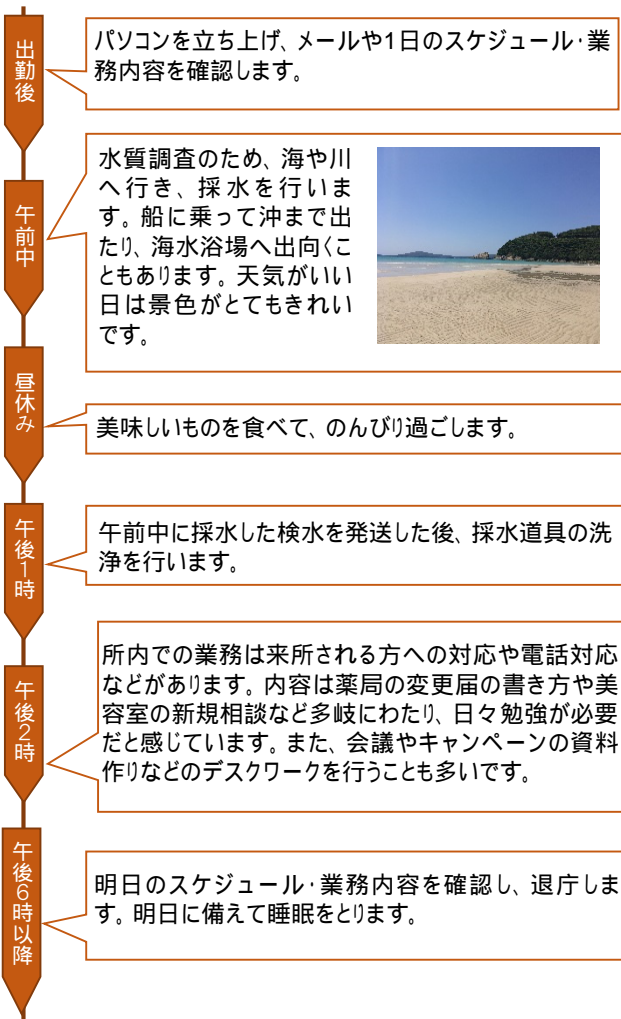
所属 五島保健所 衛生環境課



氏名 坂本 真樹子

趣味 - スポーツ観戦、歩くこと、ヨガ

行政薬剤師の業務は薬事、環境、食品など多岐に渡ります。担当業務が変わると緊張感も増しますが、自分が関わることのなかった所へ行くこともあり、毎日新鮮な気持ちで業務に取り組んでいます。



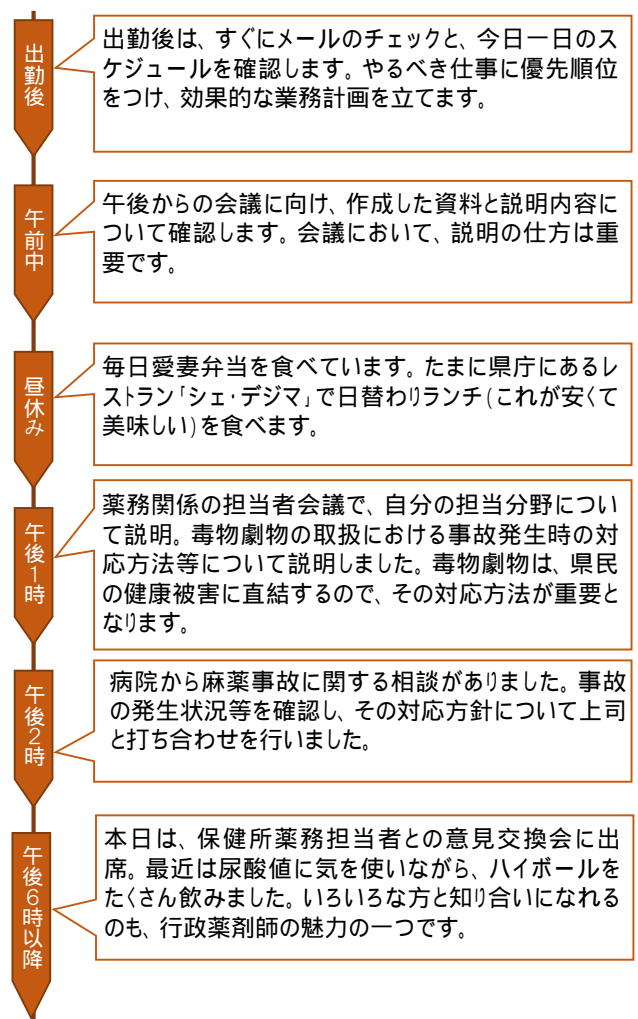
所属 福祉保健部薬務行政室



氏名 江川 真文

趣味 - 読書、食べること
信条 - 笑う門には福来たる

薬務行政のなかでも、麻薬や毒物劇物の指導取締に関する仕事をしています。県民の健康や生活を確保するため、多方面の方と協議を重ねながら、日々、施策の立案に取り組んでいます。行政薬剤師として一緒に仕事してみませんか。



所属 環境保健研究センター

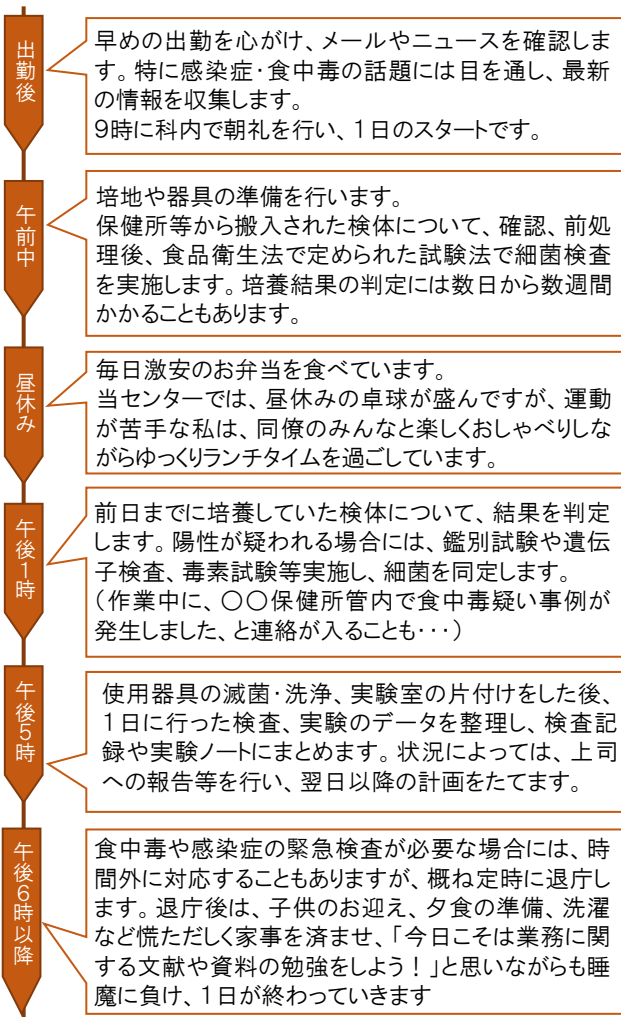


氏名 高木 由美香

趣味 — 城めぐり

信条 — 和を以て貴しとなす

食中毒や感染症の原因となる微生物(細菌、ウイルス、寄生虫)の検査や食品衛生法に基づく食品の規格基準検査などを行っています。行政薬剤師のイメージとはかけ離れているかもしれませんが、県民の健康や食の安全に貢献できるやりがいのある仕事だと思っています。



ワークライフバランス

先輩からのメッセージ



田村 なつみ

平成19年 入庁

趣味 — 旅行

信条 — ポジティブ変換、住めば都

妊娠・出産

私は平成27年に妊娠・出産し、現在は娘が一人います。妊娠がわかったのは年度当初の4月。「うれしい」の次に出てきた感情は「申し訳ない」でした。変わったばかりの担当業務を途中で引き継ぐこと、職場のみなさんに負担がかかること。とにかく申し訳なさしかありませんでした。長崎県は妊娠・出産・育児に対する福利厚生が充実していますが、やはり周囲の理解・支えがなければ子どもを産み育てることはできません。例えば、妊婦健診に行く際には『妊産婦健診休暇』というものがあります。私は土曜日に健診に行くようにしていたので利用しませんでした。当時の上司は「必要なときは利用してね」と声をかけてくださいました。また、自分の力不足はもちろんです。つわりの時期は特に仕事が捗らないことがあり、そんなときは職場のみなさんにサポートしていただきました。本当に職場のみなさまには感謝、感謝です。

子育て

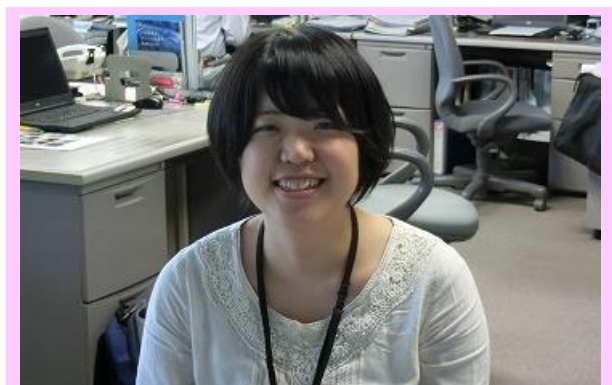
出産後は約1年2ヶ月の『産後休暇(産休)』と『育児休業(育休)』を取得しました。1日中赤ちゃんとお過ごし、成長を見守る日々はかけがえのないものではありませんでしたが、「ずっとはできないな…」と、仕事に戻りたいと思うようになりました。産休・育休が取得でき、さらに職場復帰もできる環境は恵まれています。復帰後は最大2時間早く帰宅できる育休を活用することで、夕飯の準備や保育園の迎えの時間を確保することができました。ここでも職場のみなさんのサポートに支えられました。育休は子どもが2歳になるまでの制度のため、現在は通常勤務でなんとか子育てを頑張っているところです。精神的・体力的に辛いときはありますが、私には働きながらの子育てが性に合っていると感じています。

さらに公務員のよいところは、子どもと休日が同じことです。私の場合は夫も公務員であるため、休日を合わせる必要はなく、家族でよく出かけています。オンとオフの切り替えをしっかりと、仕事での経験を子育てに活かし、逆に子育ての経験を仕事に活かすことができると日々過ごしています。

希望者へのメッセージ

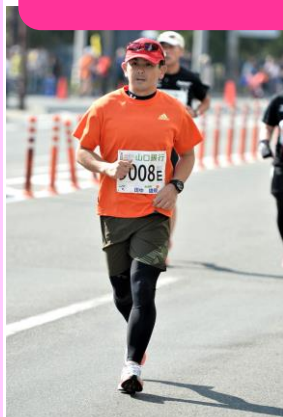
私は県外の大学へ進学しており、学生の頃、ただ漠然と「長崎に戻りたい」とだけ考え、就職活動よりも国家試験の勉強に励んでいました。そんなある日たまたま県職員という仕事に興味を沸き、採用試験を受験し今に至ります。実際に働いてみて、環境行政、薬事行政、食品衛生行政と様々な分野を担当して得る経験や人との出会いは貴重なものだと感じています。

県職員ではなくても子育てしながら働くお母さんは世の中にたくさんいますが、福利厚生の充実はより子育てを楽しんでくれますよ♪



ワークライフバランス

先輩からのメッセージ



名前 田中 雄規

平成15年 入庁

趣味 — バドミントン、ゴルフ、マラソン、ラグビー観戦、ドライブ、他

信条 — 一日一廻

趣味はキッチリと、育児はガッチリと

誕生してからまだ日は浅いですが、私には長女がいます。イクメンに徹しようとお風呂やミルクに寝かしつけと、新米父親だからこそ育児に積極的に参加するよう心がけています。そのため、プライベートの時間は少しでも多く確保できればとの思いで、残業がないよう計画的かつ効率的な業務遂行に日々励んでいます。

出産当時、初めての経験ということもあり、常に不安はありましたが、出産補助休暇(3日)や男性の育児参加休暇(5日)等の休暇制度を活用し、妻のサポートやイレギュラーな検診にも対応することができました。これも職場の上司や同僚のご理解とご協力があったことだと感謝しています。

一方、独身時代より「楽しみは一つでも多く」と、週1のバドミントン、月1(?)のゴルフ、週末のラグビー観戦、気まぐれのランニングといったスポーツをはじめ、洗車やドライブといわゆる多趣味であります。学生時代はラグーマンだったこともあり、高校ラグビー(花園)や社会人トップリーグ等、常にアンテナを張っており、特に週末のラグビー観戦では世界最高峰のスーパーラグビーでサンウルブズ(日本)のシーズン初勝利を期待しながら、妻と娘と3人テレビの前で熱い声援を送っています。今は体が持ちませんので専ら観戦のみにしておりますが(笑)。そして、社会人となってから始めたバドミントンでは、職場のクラブで部長を務め、部員一丸となってリフレッシュしています。

長女が誕生してからは騒がしい毎日となり、当然ながら何でも自由にとはいきませんが、多趣味は良くも悪くもうまく付き合うことで生活のいいスパイスとなります。

育児は決して簡単なものではありませんが、仕事と家庭そしてココロとカラダとうまくバランスを保ち、肩の力を抜いて楽しみながらやるよ

うにしています。おかげで公私ともにメリハリがつき、充実した日々を送ることができていると実感しています。

希望者へのメッセージ

薬剤師の「仕事」と言えば薬局・病院等での調剤や服薬指導がさきにイメージに浮かぶかと思われそうですが、薬剤師としての職能を活かせる場面は他にもたくさんあります。県の仕事では、衛生や環境等さまざまな分野において薬剤師の職能が求められています。異動がつきものではありますが、これゆえにここでしか携わることができない仕事や各種研修を経験することができるため、それが個々の貴重な財産となります。さらに、福利厚生が充実していますので、まさに「仕事と生活の調和」を保ちやすい環境だと思います。

また、職場での新たな出会いをはじめ、他職種の方と一緒に仕事していくことで、人との繋がりがどんどん広がっていくのも魅力の一つです。仕事に限らず、球技大会等の各種イベントも盛りだくさんですので、親睦を深める機会にあふれています。

ぜひ県の仕事に関心を持っていただけると光栄です。



研 修



氏名 迎 善博

趣味 — 子どもと遊ぶ
信条 — 鉄は熱いうちに打て



研修中の懇親会

氏名 野崎 哲也

趣味 — 釣り、サッカー、グルメ
信条 — 毎日を楽しむ

麻薬取締員研修

麻薬取締員は、都道府県の職員から、知事が任命する司法警察員です。必要に応じて拳銃の携行が認められているほか、警察官ができないおとり捜査も認められています。

この研修では、東京都代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで約2週間にわたり、麻薬関係法令のほか、憲法、刑法、刑事訴訟法などを各分野の専門家が講義を行います。このほか、薬物犯罪捜査、依存症対策、取調べと供述調書の作成や令状請求など実践的な講義もあり、大学の薬学部では決して学べない貴重な経験をすることができました。さらに、実地研修では、医療用麻薬製造施設見学や裁判の傍聴、府中刑務所見学、税関施設見学などをしました。

この研修の魅力の一つとして、全国から受講生が集まることがあげられます。私が受講したときは、全国の麻薬取締官、麻薬取締員のほか、税関職員、海上保安官、自衛隊員など、約80人の同期がいました。研修所敷地内に宿泊施設があり、毎日の研修終了後は、全国から持参した地酒とつまみで親交を深めました(最終日に確認試験があるので、ほどほどにです)。研修の同期とは、SNSなどを通じて今でも情報交換を行っており、心強い仲間です。

薬事衛生管理研修

私たちが普段薬局で購入し、口にする医薬品。私たちが安心して医薬品による治療を受けるためには、医薬品がその製造所で適正かつ衛生的に製造されている必要があります。例えば、医薬品にその有効成分が多く入りすぎると患者さんは副作用を起こす可能性が高くなり、逆に少なくなると目的とした治療効果を得られることが出来ません。そのため、医薬品は常に必要な量の有効成分を均一に含むように製造されなければなりません。私たちは、これら医薬品の安全性・有効性を確保するため、医薬品の製造所の立入調査を行ない、適正に管理、製造がなされるよう監視指導をしています。

医薬品製造業の調査を行なうには、専門的な知識と経験が必要であり、調査員の教育訓練を行なうことが重要になります。薬事衛生管理研修では、調査員の育成のため、全国各県の調査員が集まり、一ヶ月間泊り込みで勉強することが出来ます。研修では最新かつ専門的な講習を受講できるとともに、実際に製造所に立ち入り、模擬的な調査を行なうことができ、自身のスキル向上のためにとっても貴重な経験になります。

そして研修の何よりのメリットは、全国各県の調査員との親睦を深められることです。研修後も業務の情報交換を行ったり、出張先で一緒に飲み行ったりと親交が続いております。

長崎県のみならず、全国に仲間を作れることが本研修の魅力、そして県職員の魅力ではないでしょうか。

先輩職員からのメッセージ



立木 和昭

平成9年入庁

行政薬剤師の仕事は、薬事衛生、食品衛生、環境衛生など多岐にわたり、地域の公衆衛生の確保に欠かせない重要な仕事です。臨床薬剤師とは別の立場で、県民の保健衛生の向上のために、県職員として働いてみませんか。



山口 明雄

平成15年入庁

このパンフレットを見ているあなた！あなたの就職希望先に『長崎県庁』は入っていますか？6年制の薬学部出身者の進路として、その多くは病院や薬局、製薬企業などがほとんどで、恐らくその選択肢の中に『県庁』は含まれていないと思います。それは県庁における薬剤師の仕事内容の想像のしにくさから、就職希望先として選ぶことをためらう人もいると思います。しかし、このパンフレットを見て、県庁に勤務している薬剤師が幅広い業務の中で活躍していることが分かったことと思います。少しでも興味が沸いたあなた、皆さんの将来の選択肢の一つに『長崎県庁』を入れてみてはどうですか？



森 大介

平成20年入庁

「転職者も多く活躍しています」

私は以前病院で勤務しており、病院を辞めて長崎県に入庁しました。県に入庁してからは、病院勤務の経験を薬事監視などの業務に生かしています。県薬剤師の仕事は薬事、食品、生活衛生、環境など多岐にわたっていますが、その分、転職前の経験を活かした働き方ができる職場だと思います。



元山 芳謹

平成 24 年入庁

薬剤師は、県の職員として環境、食品、薬事といった幅広い分野で地域住民の健康の保護に繋がる仕事ができます。薬剤師の知識を活かして、獣医師や臨床検査技師、保健師等他の職種の方と協力しながら仕事をする事で、県民の方々が安心して暮らしてできるように一緒にがんばりましょう。



橋田 真幸

平成 28 年入庁

皆様はじめまして！薬剤師として勤務をしております、橋田真幸と申します。長崎県庁には個性豊かな職員が多く、手厚いサポートを受けながら楽しく充実した勤務ができる環境が整っています。長崎県で臨床薬剤師とは異なるアプローチで命と関わる業務に就いてはいかがでしょうか。皆様と一緒に勤務できる日を待ってます！